



○講座 etc.

年が改まりました。現在のいろいろな講座の内容を大まかに紹介します。ITビジネス学科2年生の卒業制作の授業ではグループ(プログラミングや卒業アルバムなど)に分かれてそれぞれの課題に取り組んでいます。こども学科2年生は子育て支援実践の授業で「きらり」にやってきた子どもたちと交流しています。2年生の授業もあとひと月程度で終了です。4月に向けてひとがんばりというところです。1年生は学年最後の実習(施設)に向けて進級前の学習に取り組んでいます。

紹介が遅くなりましたが、12月18日に建築基礎技能習得コースの閉校式がありました。受講生全員が無事修了し、就職内定決定という嬉しい情報もありました。後半は現場で実習を重ねていましたので、「再会即お別れ」という感じで少し残念な気持ちもありましたが、健康に気をつけてそれぞれの場で活躍されることを祈念しています。

また、暮れには英語力習得科の講座にお邪魔しました。久しぶりでしたが皆さん変わらず意欲的に学習しておられました。参観時間は30分程度で突然お邪魔したので講師の先生には失礼だったかと思いましたが、内容は興味深かったです。就職活動支援の講義でしたが、この時は履歴書・自己PR(表現)・取組の姿勢などの具体的な内容でした。職を求めて活動するまさに実践的なお話です。私は拝聴しながら「この講義のままの内容と雰囲気の中学生(高校生)にも受講してほしい。」と思っていました。職業への理解(キャリア教育)を深めるために学校に講師を招いてお話を聴くということは多くの学校で取り入れています。講師の方の話方はあくまでも中学生(高校生)向けです。少し緊迫感が薄れるように私は感じます。相手は中学生でも求職者対応と同じ講義を聴かせてみたらどうだろうかと思いました。このたよりを中学校関係者の方がお読みになり、もし興味をもたれましたらご連絡ください。ご協力できることがあればと思います。

さて、光校では介護実務サービス科の講座が進行中です。実習室で(車いす等、外でも)盛んに実技が行われています。ベッドから立ち上がる動作一つだけでも想像以上にいろいろな配慮があるものだと私はあらためて認識しています。

光校の講座ではありませんが、姉妹校であるキャリアデザイン(CD)校デザイン科の学生が二科展に応募して入選しました。作品が紹介されている広島巡回展の鑑賞授業に私も参加してみました。展覧会に行くと私はいつもいろいろなやる気(意欲)をもらいます。よい一日でした。

自分の立場ではYICグループのいろいろな学科の講座などを参観することができます。私の役得ですね。それと比較して学生は自分とは違う学科の内容にふれる機会はなかなかありません。光校内にしても学科や学年が違っていると交流する機会はそう多くはありません。カリキュラムの関係で致し方ないところです。私が参観して得たことをこのKOCHOだよりで紹介するのは、少しでも異文化(大げさですが)の情報にふれてくれたらなという思いからです。

自校自賛

「きらり」に参加している子どもたちの作品(線あそび)と学生たちの新年の抱負です。

小さくて読めないと思いますが、雰囲気から中身を想像してみてください。

